



コミュニティー

コーポラティブ

COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2018年4月

発行所*COCO湘南

〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*大江守之

COCO 湘南が原点となった グループリビングの啓蒙普及活動の広がり



グループリビング運営協議会 事務局
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員

土井原奈津江

西條節子氏が「自立と共生」という理念を掲げ、生活者が相互に、また地域の人々と共生しながら、尊厳をもった自分らしい暮らしを目指したグループリビングを実現してから今年で19年目になります。その間、COCO 湘南台の暮らし方に影響を受け、グループリビングが全国に作られました。

NPO 法人COCO 湘南は、2008年からの3年間、公益財団法人JKAから補助を受け、制度的に位置付けがないため、試行錯誤していた運営者を支援することを目的に、「高齢者生き生きグループリビング支援活動」を行いました。その後、その活動を受け継ぎ2012年に設立されたグループリビング運営協議会は今年で7年目となります。

協議会の活動は、グループリビングをより良いものにしていくという意志を持つ運営者が中心となって、お互いに知恵を出し合い、問題解決や情報共有を行うことを一義的な目的としていますが、同時にそこで得られた成果を社会的に発信し、これからグループリビングを作ろうとする人たちへの支援も行っています。また2016年度から2018年度の3年間「高齢者グループリビングの社会的普及に向けた実践的研究」をテーマに、協議会に所属する運営者、研究者がともに研究を行っており、2019年度末には研究成果を発表するシンポジウムを開催する予定です。

COCO 湘南が原点となった協議会は、「自由な暮らし。自分らしくともに住もう」に共感した仲間を増やしながら進化しています。

居住者募集中

COCO 湘南台1人、COCO たかくら1人

ご連絡先 0466-46-4976

COCO 湘南台 ミュージアム

COCO湘南台には、アトリエ、リビング、廊下にたくさんの作品があります。
西條節子さんに作品の紹介とともにそれぞれのエピソード等を伺いました。



西條さんは海外旅行に行く度に、必ずおもちゃ屋さんを覗いて、面白いものはないかと探してみるそうです。



「高山の古道具屋で買った半被。昔はTシャツの上にこれを着ていたこともあった」（西條さん）



横山直木君の絵



たぶろう会の並木義次氏の弟子の作品。
並木氏から「どれでも持って行っていいよ」と言われ選んだもの。



チェンバロ奏者の河合麗子氏のお母様の作品。河合麗子氏のお母様は、居住者、有吉さんの親友。その縁で戴いた作品。



居住者、彫刻家 熊坂兌子さんの作品



もと居住者で西條さんの従妹 服部衣子さんの刺繍



服部さんがコンクールで賞をとった作品



太田和人君の絵



彫刻家 熊坂兌子さんのお父様の作品。お父様は会社員でしたが趣味で絵を描かれていたそうです。



郵便受けも服部さんの作品

西條さんのスプーンコレクション

西條さんはブラジルに行った時、本当に素朴だけど素敵な石のスプーンを見つけました。スプーンはポケットに入り手軽だし、記念になると考え、その後、海外旅行に行く度にスプーンを現地で買い求めていました。それを見た友人も海外旅行に行くと西條さんへのお土産にスプーンを買ってきてくれたそうです。

ある日、そのスプーンを見た居住者の有吉さんから「そのままではもったいないので、額に納めたらいいのでは」と提案がありました。そして有吉さんはスプーンを綺麗に磨いてくださったそうです。下に引く布やスプーンのレイアウトなどのデザインは西條さんが考え、世界堂に持って行き、作ってもらった作品は全部で4つあります。



この中心にある十字架は、西條さんの実家で飼っていた犬がある日、啜って戻ってきたもの。これがきっかけとなり西條さんのお母様はキリスト教で洗礼を受けられたそうです。



もと居住者、植田黎子さんの作品。
今は千葉在住。今も手紙のやりとりをしているそうです。



友人の大岡宗平氏から、西條さんが議員になったときのお祝いに送られた作品

COCO 湘南台でひな祭り会開催

3月2日にCOCO 湘南台で「ひな祭り」を行いました。参加者は居住者、ライフサポーター、理事会役員です。ライフサポーターの手作りのいなりずしやデザートが用意されました。役員と居住者の交流を兼ねて行われ、とても和やかな会となりました。



高 齢 者 グ ル ー プ リ ビ ン グ 普 及 活 動 2018 年 1 月 ~ 4 月

1月17日 COCO 湘南台に NPO 法人キングス・ガーデン神奈川 6 名の見学がありました。

2月6日 テレビ朝日スーパーJチャンネルでCOCO たかくらが紹介されました。

2月8日 COCO 湘南台に名古屋の設計事務所 4 名の見学がありました。

2月19日 武蔵野市のシニア・パラダイス倶楽部 3 名の見学がありました。

3月5日 COCO 湘南台に大阪から医療関係者のグループ 4 名と沖縄の方 1 名の見学がありました。

編集後記

近年身体活動や位置情報、会話した相手やその時間などを蓄積したビッグデータから「人の幸せ」を定量化できるようになったようです。それによると人や社会とのつながりが幸福度を高めると言われています。逆につながりが少なく孤独であることが、健康や寿命に影響しているということも明らかにされました。65 歳以上の高齢者を研究されている東京医科大学の金森先生の研究では、3 つ以上の異なるコミュニティに属することが、健康を害さないために必要だということでした。さて、皆さんはいくつのコミュニティに属していますか？ もし 2 つ以下でしたら、新しいコミュニティを探してみませんか？ (な)

編集者 * 大江守之
熊澤淑子
青木静恵
土井原奈津江

川崎ワークショップが開催されました。

3月3日土曜日に神奈川県川崎市のグループリビングおでんせ中の島で川崎ワークショップ「高齢者グループリビングの社会的普及に向けた実践的調査研究報告会」(NPO 法人暮らしネット・えん主催、グループリビング運営協議会共催)が開催されました。まずおでんせ中の島の見学を行った後に、グループリビング運営協議会会員の研究者や実践者8人が首都圏を中心に全国12ヶ所の高齢者共同居住の運営者と潜在的運営者を対象に調査を行い、その成果を発表しました。



参加者は総勢32名で、グループリビング運営者、スタッフ、居住者、グループリビングを作りたい人、グループリビングに興味のある人、研究者等が集まりました。

この調査は3年計画で実施しており、今年度はその2年目にあたります。来年度は最終年度で3年間の成果をシンポジウムで発表する予定です。

発表を行った研究者及び実践者

上野勝代	神戸女子大学名誉教授
大江守之	NPO 法人COCO 湘南理事長／慶應義塾大学名誉教授
小島美里	NPO 法人暮らしネット・えん代表
近兼路子	慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程
土井原奈津江	慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
中西真弓	神戸山手短期大学生生活学科准教授
林 和秀	NPO 法人暮らしネット・えん／立教大学大学院後期博士課程
宮野順子	京都光華女子大学短期大学部講師

～ NPO 会員の募集～きっと人それぞれに出来る大切な一歩があるはず！

COCO 湘南の活動にいろいろなかたちでのご参加とご支援をお待ちしています。

●会員になってくださる方

正会員：個人入会金 ¥5,000 (年会費1口 ¥5,000)
団体入会金 ¥10,000 (年会費1口 ¥10,000)

賛助会員：個人年会費 ¥2,000 (入会金不用)
団体年会費 ¥5,000 (入会金不用)

●ご寄付くださる方

COCO 湘南の活動の費用など、資金面等で応援してくださる方

★特典 ①会報の送付

②サロンコンサートなど行事の案内

③ゲストルームの利用